

総務委員会 所管事務調査報告書

令和8年4月28日

犬山市議会議長
大 沢 秀 教 様

総務委員長
玉 置 幸 哉

本委員会は、地方自治法第109条第2項及び犬山市議会会議規則第97条第1項の規定に基づき、下記の事項について調査したので、犬山市議会会議規則第102条の規定に基づき報告します。

記

1. 調査事項

地域公共交通について

2. 調査目的

市民の移動手段は、日常生活に密接に関わる重要な要素であり、買い物や通院など多様なニーズに対応する必要がある。

持続可能な交通施策を実現するため、公共交通の現状を多角的な視点で、昨年度に引き続き調査研究を行う。

3. 調査方法

(1) 現状把握（執行部からの現状説明・報告及び質疑）

日 時 令和7年7月24日 午前9時59分から午前10時57分まで

場 所 第1委員会室

出席委員 5名（全員）

出席者 市民部長兼防災監、防災交通課長

主な内容 わん丸君バスや公共ライドシェアについて、実績やアンケート結果等をもとに現状報告を受け、意見交換を行った。

- ・公共ライドシェア車両の利活用を考えてはどうか。
- ・わん丸君バスの市民利用ニーズについて、商業施設、病院、駅が主であるが、人口減、高齢者率の増加等の諸事情を踏まえ、犬山市の地域公共交通の在り方を見直す時期に来ているのではないか。
- ・わん丸君バスの他市への接続の必要性について、利用状況によっては、路線見直しも視野に入れてはどうか。

(2) 研究者等からの情報収集（傍聴及び資料受領）

①第2回犬山市地域公共交通会議

日 時 令和7年10月3日 午前10時00分から午前11時00分まで
場 所 市役所201・202会議室
主な内容 「公共ライドシェアの継続について」「わん丸君バス再編について」の協議がなされた。

(3) 先進地への行政視察

①東京都武蔵野市

日 時 令和7年10月7日 午後1時30分から午後3時00分まで
場 所 武蔵野市役所
出席委員 5名（全員）
テ ー マ 地域公共交通について
主な内容 武蔵野市のコミュニティバス「ムーバス」の施策についてその背景と効果を学んだ。

- ・民間の路線バスは市全域を運行しているが、交通空白地、交通不便地の解消と、駅前の放置自転車対策を目的として、3つの駅を起終点とした7路線9ルートを運行している。
- ・高齢者比率が高まる中、福祉施策も兼ねた事業であり、高齢者や妊婦等の歩行距離を考慮した200メートル間隔を基本としたバス停設置や、大人も子どもも一律100円の分かりやすい料金設定となっている。
- ・事業主体は市であり、運行収支に赤字がでていた分については、市が補助金で補填している。地域公共交通は、フレイル予防等、様々なクロスセクター効果を考慮する重要な事業である。

(4) 当局との意見交換（視察報告会）

日 時 令和7年10月14日 午後0時59分から午後1時53分まで
場 所 第1委員会室
出席委員 4名（1名欠席）
出席者 市民部長兼防災監、防災交通課長
主な内容 東京都武蔵野市の先進地事例をもとに、犬山市に有用な施策について当局を交えて意見交換を行った。

- ・地域公共交通のクロスセクター効果を前面に押し出し、乗車促進を進めるとよいのではないかと。
- ・持続可能なものにするため、運転手不足等、事業者の課

- 題に行政が一体となって対策する姿勢が大切ではないか。
- ・利用者アンケートにより細やかなニーズを掴み、交通拠点、店舗、医療機関等、「目的」を明確にすることが必要ではないか。

(5) 委員間討議（意見集約）

日 時 令和7年11月21日 午後0時58分から午後1時36分まで
場 所 第3委員会室
出席委員 5名（全員）
主な内容 多角的な視点から、コミュニティバス以外の地域公共交通について討議を行った。

- ・高齢者タクシー料金助成について、現状の85歳以上対象から75歳以上対象へ引き下げた場合の試算をしてはどうか。
- ・近隣の扶桑町で取り入れられているデマンド交通について、先進地調査を行うのはどうか。

(6) 先進地への行政視察

愛知県扶桑町

日 時 令和8年1月19日 午後1時30分から午後3時00分まで
場 所 扶桑町役場
出席委員 5名（全員）
テ ー マ チョイソコふそうについて
主な内容 扶桑町のデマンド交通「チョイソコふそう」の施策についてその背景と効果を学んだ。

- ・町民の生活に必要な移動手段の確保と、高齢者の外出支援・促進を目的に、2年間の実証期間を経て、令和6年10月より運行を開始したデマンド型の地域公共交通である。
- ・10人乗りのハイエース2台を運行車両として午前8時から午後4時までの平日に運行しており、1日平均57人の利用がある。
- ・エリアスポンサーからの協賛金にて、運賃の低価格化を実現している。また、会員へのイベント情報の案内等により、出かけたくなる演出を行っている。

(7) 委員間討議（調査結果まとめ）

日 時 令和8年1月26日 午後0時59分から午後1時41分まで
場 所 第3委員会室

出席委員 5名（全員）

主な内容 市への提言のため意見集約を行った。

4. 調査結果

委員間討議を踏まえ、以下の4点について意見集約した。

- (1) 利用者の少ない路線において、他の地域公共交通を検討すること。
- (2) 他の自治体の事例を参考に、停留所設置に係る費用について、民間からの資金的なサポートが受けられるような仕組みを検討すること。
- (3) 高齢者に限らず、多くの世代が使える地域公共交通を目指すこと。
- (4) 市内外の交流人口を促すために、新たな広域連携での地域公共交通を模索すること。